

## 我がクラブの目指すところ (IM第1組)

池田RC 会長

### 田嶋也寸志

池田ロータリークラブは、本年度創立60周年を迎えます。5つの子クラブ、6つの孫クラブ、1つの曾孫クラブに恵まれた伝統のあるクラブですが、伝統を受け継ぎながらも新しい時代に即したクラブに変化していかなければなりません。また、地域に根ざしたクラブとして、地域社会との密接な関係を維持していく必要があります。

このような状況の中で、当クラブは会員減少と例会出

席率の低下という大きな問題を抱えています。特に会員減少は各クラブ共通の問題であると思いますが、その解決のためにも外部に開かれたロータリーであることが必要です。

また、奉仕活動においても自己満足に終わること無く、客観的に成果を評価しなければなりません。このような奉仕活動と広報活動を継続的に行うことで、地域と世界に貢献できるクラブ目指していきます。

池田くれはRC 会長

### 松室利幸

当クラブはお陰様で2014年4月に創立30周年を迎えます。スポンサークラブである池田ロータリークラブの創立30周年を機に設立されました。

昨年度のIMホストに続き、今年度も様々な創立記念事業の実施に向けてクラブも非常に良い雰囲気になっております。

記念事業を策定するに当たり、クラブ内で今後のクラブの在り方について議論を重ねた中で、私たちはロータリー創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて魅

力あるクラブ創りを目指し、会員ひとり一人がクラブにより一層愛着を持ってもらえるようにすることが重要であると考えております。

また対外的には、行政や地域各種団体の皆様方と例会や事業を通じてコミュニケーションを深め、ニーズに即した事業展開を心がけることにより、これからも地域の皆様に愛され、必要とされるクラブとなるよう努力を続けてまいります。

箕面RC 会長

### 上島一彦

箕面ロータリークラブは「超我の奉仕」を原点に、地域社会において真に必要なとされるクラブを目指して、今後の活動に取り組むたいと考えています。

本年度から、ロータリー財団の「未来の夢計画(FVP)」が新システムとして導入されますが、当クラブでも、新地区補助金を活用して、「薬物乱用撲滅キャンペーン大会(10/5)」関連プロジェクトを実施します。

「薬物乱用撲滅キャンペーン大会」では、大阪府の中原教育長、箕面市の倉田市長等によるパネルディスカッションの他、世界大会で優勝した府立・箕面高校ダンス部によるパフォーマンス等を通じて、薬物乱用の危険性を広く青少年に呼びかけて参ります。

また、地域の各種団体との連携を図り、阪大環境サークルGECSとの箕面川清掃、箕面RC杯ゲートボール大

会や、シンボルロード・クリーン作戦等、地域社会のニーズに応えるプロジェクトを実践して、ロータリーの社会的認知度を向上すれば、クラブの会員増強にも繋がります。

現在、25名の会員ですが、このままクラブ会員の減少傾向が続けば、財政が硬直化し、特定の会員に過重な負担をかけるため、奉仕活動を縮小せざるを得ない事等、悪循環を招いてしまいます。

新会員に入会をお願いする事は全ロータリアンの責任であり、クラブの存亡をかけた会員増強に一丸となつて取り組みます。

「いまだ見ぬ人を探し、人から学び、人を育てる」、「量

は質に転化する」等、すでに増強の議論は尽くされており、もはや行動あるのみです。

さらに、会員増強は新会員を入会させて終わるのではなく、新会員がクラブの活動に意欲的に参加し、互いの親睦を深め、奉仕活動の意義を実感出来るようになって初めて、目的が達成されます。

また、本年度は国際ロータリー第2660地区・第1組・インターシティー・ミーティングのホストクラブを担当(4/12)しており、米国弁護士としての国際的な経験と明確な教育ヴィジョンを併せ持つ、大阪府の中原教育長の講演等を通じて、各クラブの「新世代奉仕」活動の充実につなげたいと願っております。

箕面千里中央RC 会長

### 原 たかし

本年度のRI会長はロン・D・バートン氏です。RIテーマは「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」です。

重点目標は、

- 人道的奉仕の重点と増加
- クラブのサポートと強化
- 公共イメージと認知度の向上 です。

RI第2660地区ガバナーは福家 宏氏です。地区の方針は「感動の体験を!! 人々にも自身にも」Participate!!~参加し、敢行しよう~です。

重点目標は、

- 会員の維持・増強
- ポリオ撲滅
- FVP: 未来の夢新補助制度
- 東日本震災復興支援
- 広報活動 です。

上記の内容詳細については、ロータリー発行冊子及び地区HP等でご理解をお願いします。

我がクラブは本年で34周年を迎えます。当クラブの

活動の特色として、国際奉仕・地域奉仕・クラブの親睦を引き続き行っていきたくと思います。

一時は会員58名、平均年齢50歳でしたが、現在は21名、平均年齢70歳代のロータリアンでスタートします。私が入会して27年目になります。

人材にすぐれた少数精鋭の個性あるクラブですが、ここで再度初心を振り返り行動していきたくと思います。ロータリーの誕生とその成長やロータリーの綱領を理解し、特に四つのテスト

- ①真実かどうか
- ②みんなに公平か
- ③好意と友情を深めるか
- ④みんなのためになるかどうか

を、常に念頭において行動していきたくと思います。

限られた人数で活動するにあたり、クラブ会員が望んでいることを集約し、クラブの独自性を理解し、理事・役員会、各委員会、各委員を通じて、コミュニケーションを重視、情報を共有しつつ、新アイデアを出し合える素晴らしいクラブにしていくつもりです。どうか皆様の理解と賛同をお願いします。

豊中RC 会長

## 横田広司

私ども豊中ロータリークラブは、平成25年8月末現在、会員数46名、うち在籍5年以内の会員は17名です。直近5年間では会員数45名前後で大きな増減はなく、毎年の自然退会の人数を会員増強でカバーしている状況です。

また、クラブの奉仕活動としては、職業奉仕、青少年奉仕の「出前授業」、国際奉仕の「グローバル Grant」をここ十数年継続して行っており、当クラブの重要な活動

になっています。

ただ、活動の中心はベテランの会員になっており、次世代の会員への継承が急務と思われれます。

会員育成は単年度の取組みでも必要ですが、継続性を持たせた長期的な取組みが大切だと思います。より多くの活動に参加してもらい、ロータリーの奉仕を理解いただき、個々にあった奉仕が見出せるようクラブ全体で取り組んでいく所存です。

豊中南RC 会長

## 水野 茂

7月4日、本年度第一回目の例会で二年ぶりの新入会員をお迎えし、現在29名のメンバーで和気藹々とロータリー活動に勤しんでいます。

2020年東京オリンピックの開催決定で盛り上がるわが国日本ですが、7年後の当クラブを想像すると楽天的な私ではありますが、会員数的にあまり喜ばしい状況ではないと予測します。

50年後の日本の人口は35%減少して8,000万人と推定されています。

高齢過疎化した集落で抜本的な改革方法が見出せないまま先送りすると、やがて医療、教育等の市民サービスが受けられなくなりXdayを迎えます。

やるべき活動、維持増強は精一杯やる。ロータリー活動の素晴らしさはあらゆる方法で広報することを約束する前提で、人口と世相に応じたクラブ数への統廃合を行う必要があると考えます。精神論、根性論ではなく現実を見据えた調整が理想の奉仕を永続的に行う方法ではないでしょうか。

豊中一大阪国際空港RC 会長

## 田中竹二

私共のクラブは、会員が20名から21名の間を彷徨しているクラブです。関空が開港する迄は、70名余の会員を擁するクラブでした。現在、会員増強に力を注いでいるところですが、なかなか成果が上がらないのが実状です。

反省点としては、奉仕活動の消極的な姿勢にあったのではと思っています。例会に出席し、親睦、友情と思

やりに支えられた奉仕に傾注すべきであるということ、そして実践した事から習得した事例を職業奉仕へ繋ぎ、地域社会に奉仕する。全ての行動は職業奉仕に通じるのであり「職業奉仕こそ、ロータリーを活性化」させるものと思っています。

遅まきながら、昨年度後半、老人施設を慰問し、車椅子の寄贈も実践しました。これらの実績を基に、新入会員

の発掘に努力したいと考えています。

国際奉仕部門では、台湾・桃園東ロータリークラブとの姉妹提携関係の強化に力を入れたいと思っています。

3.11東日本大震災では、逸速く450万円の義援金を送金して下さった、大変親日家の国であり、年に1回交流を深めているのです。同ロータリークラブの姉妹クラブでもある、韓国・東安養ロータリークラブとも年1

回交流を図る事になり、回を重ねる毎に、親しくなり、政治的な事は別として、親善に双方努め、友好的な姿勢で互いに理解し合うようになった事は大変有意義で今後も継続したいと考えているところです。

私共クラブは概ねこの様なクラブであります。まだまだ42周年を迎えた未熟なクラブですが、どうか皆様のご指導をよろしくお願いします。

豊中千里RC 会長

## 森田正治

元来、ロータリークラブの出発は社会的にも精神的にも、またしっかりした論理性を持った商取引が出来る仲間がロータリーを創立しました。その成長過程で商取引の他に、社会奉仕化国際化等が社会的に必要となってきました。

その奉仕活動により一般社会に於いて認められてくるようになったのです。ロータリークラブに入会する人は、人格的にすぐれた人と又信頼できる人との交流を求めてロータリークラブに入会するのではないでしょう

か？

そのためには「親睦に始まり親睦に終わる」と言われて来ましたことを実践し、一人でも多くのメンバーと交流する機会を増やして、地域社会とのつながりや奉仕活動などを通じて相互の信頼又友情へと進んで行き、それがクラブ内の融和と向上を造っていくのではないのでしょうか。それが、人材の育成と会員勧誘への動機となり、新入会員も増加しクラブ自身の向上につながると思います。その様なクラブを目指しています。